

(第1回変更) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和 3年 1月 19日
契約業者名	阪神高速技研(株)
契約業者の住所	大阪府大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル23階
業務の名称	料金收受業務支援システム構築業務(2020年度)
業務場所	阪神高速道路(株)の指定する場所
業務種別	(その他)
業務概要	阪神高速道路の料金收受業務の関係者に対して気象や震度等の情報伝達や被害状況入力を行うために総合防災システムと連携し、災害行動(基本方針)及び行動状況情報を閲覧するための料金收受システムについて新たな機能に構築を行う。
業務期間(自)	令和 2年 10月 2日
業務期間(至)	令和 3年 3月 12日
契約金額	49,786,000 円
変更金額	209,000 円 増
変更後の契約金額	49,995,000 円
変更理由	別紙のとおり

※金額は、税込みである。

変更契約理由書

料金收受業務支援システム構築業務（2020年度） 第1回変更

本契約の期間内において、料金收受業務支援システムにかかる既存の機能を改善する必要が生じたため、業務計画書 第2章及び第4章を以下のとおり変更する契約を行うものである。

第2章 業務の目的

(変更前)

本業務は、地震等にかかる情報伝達機能、総合防災システムと連携した被害状況入力機能、災害対応手順及び行動支援機能の構築を行うものである。

目的	機能名称	構築時期
道路管理のBCP	防災連携	II期
業務の効率化	業務支援機能（報告）	次期改修

(変更後)

本業務は、地震等にかかる情報伝達機能、総合防災システムと連携した被害状況入力機能、災害対応手順及び行動支援機能の構築を行うものである。

目的	機能名称	構築時期
道路管理のBCP	防災連携	II期
業務の高度化とCS向上	お客さま対応機能の改善	II期

第4章 業務内容

(削除)

4-2 業務支援機能に係る要件定義

次期改修で予定している「業務支援機能（報告）」について、要件定義を行う。

(変更) ※以下、項番の再採番

4-2 詳細設計

既述のII期構築機能の仕様のブラッシュアップを行い、詳細設計に纏める。

詳細設計は、以下のようなものを想定する。

- ①画面設計
- ②サーバプログラム設計
- ③データベース設計
- ④バッチプログラム設計
- ⑤API¹設計

4-3 実装

4-2 詳細設計に基づいて、ソースコードのコーディング、ソースコードのコンパイルを行い、プログラムを開発実装する。

4-4 試験

4-3 実装 工程で作成したプログラムについて、4-2 詳細設計のとおり実装できていることを確認する試験設計並びに、試験を行う。

4-5 運用設計とリリース

利用者向けの運用マニュアルを作成する。

また、4-4 試験 工程を経て、本番環境へのリリースを行う。

4-6 交通管制電文受信機能の刷新

2021年に移行完了を予定されている新交通管制システムから、交通管制電文を受信するための仕組みを新たに構築し、現交通管制システムから受信している機能の閉塞を行う。

(追加)

4-7 お客さま対応機能に係る仕様検討 及び 構築

I期で構築した「お客さま対応機能」の利便性向上を目的とした仕様の再検討を行い、構築する。

¹ あるコンピュータプログラム（ソフトウェア）の機能や管理するデータなどを、外部の他のプログラムから呼び出して利用するための手順やデータ形式などを定めた規約のこと

詳細設計は、以下のようなものを想定する。

- ① 広域交通情報のレイアウト変更仕様の作成とその構築
- ② 2020年度の環状線RN工事の仕様作成とその構築
- ③ 入路の閉鎖開放入力機能仕様の検討